

世界の一員として 子どもと一緒にSDGs

校長 Sr.大山 江理子



梅雨の合間の陽射しに暑さを感じる頃、夏休みが近づいてきました。4月からの学校生活をふり返り、学びをしっかり跡づけたいものです。お子さんはどのような新しい絆を築くことができましたでしょうか。課題としっかり向き合うことができましたでしょうか。今期の学年のつどいのために書いた作文では、どのようなふり返りができましたでしょうか。お子さんにぜひ話を聞いてみてください。



初等科の職員通用口に入ってすぐ左の掲示板に「私たちが目指す世界 子どものための『持続可能な開発目標』」の冊子が掲示してあります。国連は2016年1月1日から2030年までの15年間の目標として、17の項目を挙げ、世界全体の貧困をなくし、すべての国の人々が豊かさを追求しながら、地球を守ることを呼びかけています。「持続可能」ですから、今のことだけではありません。

将来、今の子どもたちが大人になった時にも可能なあり方を求めています。ここでの「開発」とは、地球の人々全体が、地球環境にも配慮しながら、より経済的に安心して生活できるようになることを目指すという意味のようです。SDGs (Sustainable Development Goals)として目にすることも多くなりました。SDGsは世界の一員としてより良い社会を築こうとする聖心の理念と重なります。この「私たちが目指す世界」はSDGsの子ども版です。わかりやすく説明されています。

私たちの日常の食べるもの、着るもの、使うもの、どれも世界の様々なところからもたらされています。私たちは気づかないうちにも世界とつながって生活しています。子どもたちが自分のことだけ、日本のことだけを考えるのではなく、世界の一員として生きていることを感じたり、考えたりする材料は身近なところにもたくさんあります。夏休みのご家族の活動には、SDGsの視点もぜひ加えてください。お子さんとどのような話ができるでしょうか。お子さんと一緒にどのような学びができるでしょうか。

「私たちが目指す世界 子どものための『持続可能な開発目標』」はWeb上で見ることができます。「子どものための『持続可能な開発目標』」で検索してください。SDGsについてお子さんと一緒に考えることは、お子さんの未来を確かなものとするでしょう。



～ みこころの祝日 ～

7月の予定

- 3日(月) ハイチデー①
1年・転入・編入生保護者会
- 3日(月)～7日(金) 2～4年水泳
- 4日(火) 午後家庭学習(私学半日研修)
- 5日(水) 4年保護者会
- 12日(水) 面接日① 午前授業
- 13日(木) 面接日② 午前授業
- 14日(金) 面接日③ 午前授業
- 15日(土) 7月の会・大掃除

9月の予定(前半)

- 1日(金) 9月の会
- 4日(月) 午前授業
- 5日(火)～8日(金) 1年・転入・編入生保護者会
- 6日(水) 母の会代表幹事会
- 9日(土) 学校説明会
- 11日(月)～15日(金) 1年水泳
- 12日(火) 5年美術館見学
- 13日(水)～15日(金) 4年校外学習

考えて行動する。誰かのために行動する。Build communities.

副校長 大島 久幸

5年生は、6月6日～9日の3泊4日で、清里へ校外学習に行っておりました。

1日目は、毎年お世話になっている津金さんと地元のご婦人方に田植えの仕方をご指導いただきました。今回は、真っすぐに等間隔で植えられるように、津金さんが綱に目印をつけてくださったので、きれいに苗を植えることができました。

2日目と3日目は、6つのグループに分かれレンジャーの皆さんと森の中に入り「道草ハイク」、※1「十字架の道行」、※2「ア・ピース・オブ・フォレスト」を体験しました。

自然の中でいろいろ体験した子どもたちは、清泉寮(宿舎)の中でも、班の友達と協力しながらいろいろな生活体験をしました。最終日には、感謝の気持ちを込め、使用した所を来たとき以上にきれいに掃除をしました。

今回の校外学習は、例年よりも子どもたちに時間のゆとりを与えたので、その中で自主的に時間管理をしたり、班で協力して活動したりすることができ、例年以上に達成感を味わうことができました。わずか4日間ではありますが、非日常の4日間は、子どもたちを一回りも二回りも大きく成長させたようです。

※1 アンデレ教会のすぐ横に「十字架の道行」があり、その道に、それぞれ違った形をした14のキリスト像が置かれています。その14カ所で祈りを捧げながら歩みます。

※2 種子から芽生えたばかりの木は、大きな木の下では、そのまま枯れてしまうこともあります。そんな小さな木を大事に拾い上げて、植木鉢に小さな森を作ります。ひとかけらの森(ア・ピース・オブ・フォレスト)から、森や木の成長、そして命について思いを巡らせます。1年後には、森に戻します。



【田植え】



【ア・ピース・オブ・フォレスト】



【廊下の掃除】

一日学校参観日

足下の悪い中、大勢の保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました。子どもたちが頑張っている姿をたくさん見ていただけたでしょうか。また、感想用紙には、びっしりと感想をお書きくださりありがとうございました。お褒めの言葉が多く大変嬉しく思います。しかし、慢心することなく、お書きくださった文章の行間に込められた思いや願いを感じ取り、授業改善に努めて参ります。



【こんな所も見てください】

授業の内容や指導方法が、どうであるかは、とても大切なことです。しかし、毎時間、最高の授業ができれば良いのですが、それはなかなか難しいです。一方、環境整備等は日々の実践が繁栄されます。掲示物の貼り方、ロッカーや靴箱の整理整頓、机が整然と並んでいるかなどは、直接学力とは関係がないように思えますが、実は密接な関係があります。また、教員がどこまでこだわってきめ細かく指導しているかも分かります。

次回は、その当たりもご覧いただくと学級の状態を判断できると思います。

～ありがとうございました～

去る6月10日に行われた聖心女子大学災害復興支援チャリティデーでは、多くの方々にご来場いただき、ありがとうございました。収益は929,275円となりました。この収益は聖心大が主に行う東北復興支援活動を通して被災地に還元されるとともに、震災を機に開講された講座や、講演の諸費用として利用されます。

今年は、会場が変更されたために初等科手話クラブなどの出演がありませんでしたが、聖心スピリットのもと、聖心大の学生・教職員を中心に、姉妹校、卒業生、聖心会、学校法人本部等が協力し、「共生」の姿勢をもって被災された弱い立場にある方たちに心を寄せることのできた一日となりました。皆様のご支援に感謝申し上げます。